

漢方薬で癒す こころとカラダ

13

暑気あたりにも五苓散

かれいさん

今年も暑い夏がやつてきました。最近は、脱水の危険に気を配り、水分補給を欠かさない人が増えてきました。しかし、水分を摂っているにも関わらず、体が重だるかつたり、頭痛がしたりする場合もあります。お話をよく聞くと、水分として炭酸飲料ばかり飲んでいたと言います。このような場合、汗からナトリウムやカリウムなどの電解質が失われているにも関わらず、水分と糖分しか補われていません。その結果、血液が薄め

られて、低浸透圧性の脱水になった可能性が考えられます。治療には、経口補水液などの電解質濃度が高い飲み物や、輸液が必要な場合もありますが、最初に五苓散を飲んでおくと症状が早く楽になります。五苓散は、細胞表面にあるアクアポリンに作用して、細胞内外の水分の移動や浸透圧の調整作用があることが証明されています。

（小児科部長 池野一秀）

五苓散 かれいさん

【効能又は効果】

口渴、尿量減少するものの

次の諸症：

浮腫、ネフローゼ、二日酔、急性胃腸カタル、下痢、恶心、嘔吐、めまい、胃内停水、頭痛、尿毒症、暑気あたり、糖尿病

※必ず医師の指示のもと
服用してください。

池野医師の書籍紹介

Dr.イケノの 思春期お悩み相談室

漢方薬で癒すこころとカラダ

著：池野一秀

価格：3,278円（税込）

B6判・180頁

発行：新興医学出版社



当院1階売店
「ハーモニー」
にて好評発売中！

